

肥田泰幸

HIDA, Yasuyuki



ご専門：血液浄化，人工呼吸，
病院情報

読者へ：バックに写っているのは，本誌「クリニカルエンジニアリング」です．発刊から今号まですべてそろっています．当時からいろいろと助けていただき，ともに31年間を過ごしたようで感慨深いです．書籍に寿命はありませんので，今後も永久に不滅となるよう期待しています．

森實篤司

MORIZANE, Atsushi



ご専門：在宅血液透析，医療情報

読者へ：今回，在宅血液透析の説明を簡単にさせていただきました．在宅血液透析は生命予後も良好なのですが，さまざまなハードルがあります．解決に向けて，臨床工学技士として力を発揮していきたいと考えています．ITの進歩を踏まえて前向きに考えたいものです．

南雲大樹

NAGUMO, Daiki



ご専門：呼吸療法（慢性期）

読者へ：診療所で慢性呼吸不全の分野に従事しています．人工呼吸療法は臨床工学技士の得意とする分野であり，在宅でも必要とされています．在宅人工呼吸療法における災害対策にも取り組んでおり，当院での活動が少しでも参考になればと考えております．

大谷哲也

OTANI, Tetsuya



ご専門：呼吸治療領域，血液浄化領域，血管系IVR領域

読者へ：看護やリハビリテーション職員に比べ，臨床工学技士は在宅医療への介入がまだ限局的といえます．医療機器に精通した技術者が在宅医療チームに参画することは，在宅医療のさらなる促進のためのインフラ整備の1つであり，臨床工学技士が果たすべき，これからの任務だと考えております．

川邊 学

KAWABE, Manabu

ご専門：医用機器安全管理

読者へ：今後，社会的な背景を受けて在宅で療養する患者は増えると考えられます．それに伴い，在宅医療のICT化も進むのではないのでしょうか．このような潮流から，今回執筆させていただいた内容につきまして皆様のご参考になればと思います．

奥村雅美

OKUMURA, Masami

ご専門：医療施設における必要不可欠な電源供給設備の設計施工開発

読者へ：自家発電設備や無停電電源装置のアイテムを活用し，ME機器（无影灯，生命維持管理装置など）を安心して使用できる適正な電源環境をご提案いたします．